

平成30年度下水道事業決算の概要

平成29年4月1日より地方公営企業法を適用したことにより、下水道事業の経理は、水道事業と同様に複式簿記により行うこととなりました。

主に施設の維持管理を行うための経費と財源を表す「収益的収支」と、下水道施設の建設・改良や企業債に係る経費と財源を表す「資本的収支」の2つに区分しています。

「収益的収支」では、収益が費用を上回り、純損失が約4,724万円となりました。

「資本的収支」では、支出全体として19億5,938万円となりました。

1. 収益的収支（税抜）

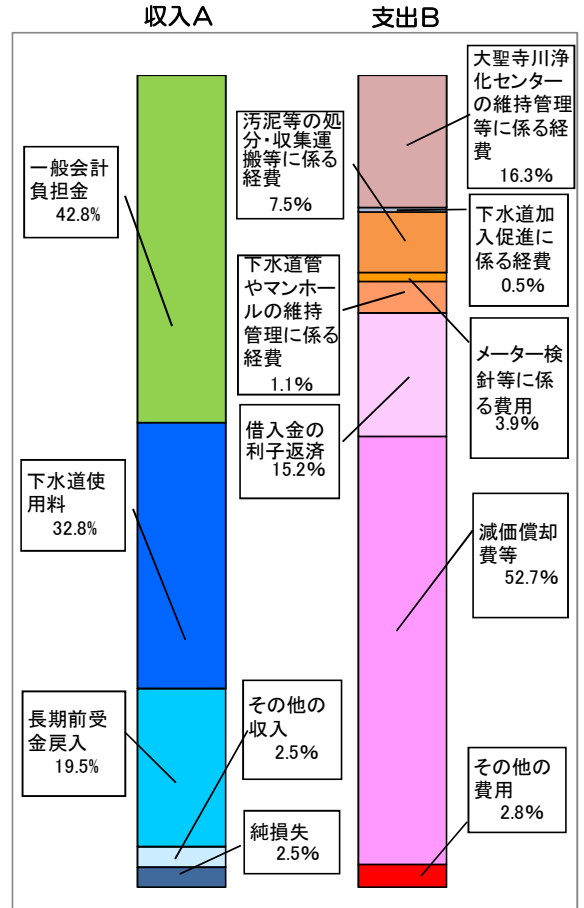
(1) 収益的収入 (税抜)

区分	決算額
下水道料金【下水道使用料】	6億2,802万円
補助金等償却費相当額【長期前受金戻入】	3億7,304万円
一般会計負担金【他会計負担金、他会計補助金】	8億2,048万円
その他の収入【下水道指定工事店手数料ほか】	4,873万円
合計	18億7,027万円 A

(2) 収益的支出 (税抜)

区分	決算額
下水道管やマンホールの維持管理に係る経費【污水管渠費】	2,149万円
汚泥等の処分・収集運搬等に係る経費【処理場費】	1億4,321万円
下水道加入促進に係る経費【普及指導費】	1,022万円
経理事務および料金収納等営業等に係る費用【業務費、総係費】	7,395万円
大聖寺川浄化センターの維持管理等に係る経費【流域下水道維持管理等負担金】	3億1,258万円
借入金の利子返済【支払利息及び企業債取扱諸費】	2億9,166万円
減価償却費等【減価償却費、資産減耗費】	10億1,070万円
その他の費用【污水ポンプ費ほか】	5,370万円
合計	19億1,751万円 B

収益的収支差額（純損失）※ **△4,724万円 C (A-B)**



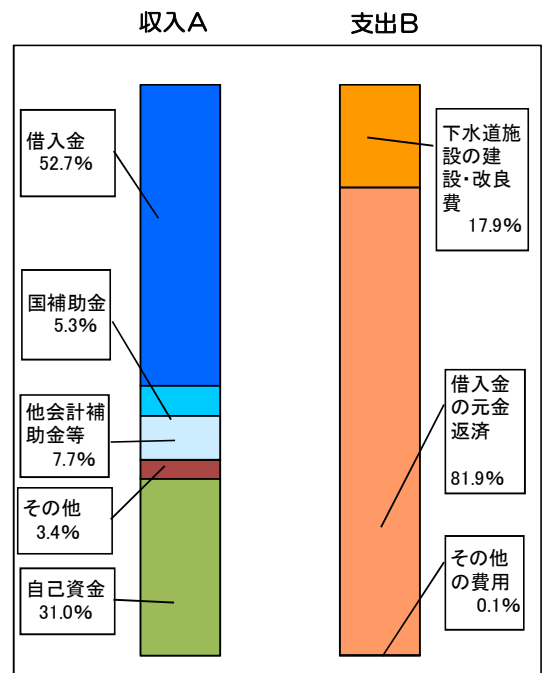
2. 資本的収支（税込）

(1) 資本的収入 (税込)

区分	決算額
借入金【企業債】	10億3,212万円
国補助金【国庫支出金】	1億 383万円
他会計からの補助金等【他会計出資金】	1億5,039万円
その他の収入【工事負担金、長期貸付金収入】	6,588万円
自己資金（内部留保資金※）	6億 716万円
合計	19億5,938万円 A

(2) 資本的支出 (税込)

区分	決算額
下水道施設の建設・改良費【建設改良費、固定資産購入費】	3億5,156万円
借入金の元金返済【企業債償還金】	16億 544万円
その他の費用【長期貸付金等】	238万円
合計	19億5,938万円 B



※1 自己資金（内部留保資金）とは、現金を伴わない支出（減価償却費等）相当額や当年度以前の利益等です。

※2 収益的収入・支出、資本的収入・支出の区分欄の【】内は、決算書の科目名を表しています。